

---

◎議案第28号の上程、説明、質疑、採決

○議長（渡辺文彦君） 日程第14、議案第28号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度松崎町一般会計補正予算（第1号））の件を議題といたします。

議案の朗読は省略して、提出者から提案理由の説明を求めます。

○町長（長嶋精一君） 議案第28号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度松崎町一般会計補正予算（第1号））であります。

詳細は担当課長から申し上げます。

（総務課長 高橋良延君 提案理由説明）

○議長（渡辺文彦君） 以上で提案理由の説明を終わります。

これより質疑に入ります。

質疑を許します。

○7番（藤井 要君） 今課長の方から説明を伺いましたけれども、これは、あれですね・・・65歳以上の接種者というか・・・ということで、次の65歳以下の時には、また改めてこういうことをやると・・・予算を組むということによろしいわけですかね。それが1点と、それからですね、これは使用料及び賃借料の関係ですけれども・・・バス借上料これは先ほど三浦、中川、岩科ということで、松崎地区の関係とかはどうするのかということと、これは前に説明受けている中では、往復っていうのですか・・・中川2回、三浦2回、岩科2回の6回とゆうことと思いますけれども、あと、これはあのバスの借り上げ料・・・どっかあの・・・どこでやってくれるのかとか、そういうのはもう決まっているのか。で、またあの場所等もですね、運行表みたいのができてるのかと言うことを聞きたいと思います。その2点に対して答弁の方お願いしたいと思います。

○健康福祉課長（糸川成人君） 予算の内容につきましては、全部64歳以下の接種の関係につきましてもすべての予算がこちらの方というか・・・令和2年度の補正予算から含めて令和3年度の当初予算、今回の令和3年度の第1号の補正予算この中でですね全ての予算が含まれているということです。ただ国の方で示しているのは、9月30日までの接種にかかる分ということでございまして、今後接種の方が延びていくことがあればですね。その分については追加で補正がされる可能性があるということでございます。

あと、バスの借上料の関係でございましてけれども、現在いろいろ予約の方をやってい

るわけでございますけれども、今予約の方が殺到していて迷惑を掛けて大変申し訳ない所でございますけれども、現状ではコールセンターでの予約を優先してやっていますので、地区別というのは今検討してないんですけれども、これから先、ちょっと落ち着いてきた時にですね、予約ができなかった方で、会場に来られなかった方に対しての送迎ということで、大型のワゴン車であったりマイクロバスであったり、そういうものを活用してですね、送迎の方を地区ごとにできないかなということで、予算の方を計上してございます。まだちょっと具体的に日程等は組んでおりませんが、これから先必要に応じてですね検討していければなということで考えております。

○7番（藤井 要君）　じゃこれ、バスの運行の業者等もまだ決まっていないということですよ。それに対しては、他の所ではですね一応入札等をやったというようなアレもありますけれども、うちの方はどのような関係でやるのか、その点についてご答弁を・・・。

○健康福祉課長（糸川成人君）　まだ送迎の方について具体的なルート等もまだこれから検討するというところでございます。ま、そうした中で、業者についてはまだ当然決まってない訳でございます。見積もり合わせ等を実施をしてやっていくのかなあとということで考えております。

○議長（渡辺文彦君）　他に、質疑ございますか。

○5番（深澤 守君）　9ページの12番の委託料の個別接種委託の件についてお伺いいたします。これ・・・個別接種ってどのような形で行われるのかお答えください。

○健康福祉課長（糸川成人君）　個別接種につきましては、医療機関の方をお願いをしてやるような形になります。今、現在決まってものにつきましては、医療従事者の分につきましては、西伊豆・松崎町の分については西伊豆健育会病院の方で接種をしていただけるというような形になっていますので、そちらの方にかかる分の委託料。また、石田医院の方で個別接種の方やっていたらということで承諾いただいて予約もこれから始まっていきますけれども、そちらの方にかかる分ということでございます。

○5番（深澤 守君）　これは石田さんでやっていたらということであればですね、やっぱ、ちゃんと告知等ですね・・・内容について混乱がないようにしていただきたいと思っておりますので、これは要望として聞いていただければと思います。答弁は必要ございません。よろしく申し上げます

○議長（渡辺文彦君） 他に、質疑ございますか。

○3番（小林克己君） 同じ12節の委託料の接種委託等業務委託についてお伺いさせていただきます。この281万9千円は、回線の増設で増えているのか、期間がやる・・受け付ける期間が長くなって増額されているのかっていうのがまず一つと、あとちょっとたわいもないことだと思うんですけども、ちょっとお伺いしたいですけども、薬剤師の謝礼ってありますけども、この薬剤師は職務的にどんな内容をされるのかちょっとお伺いしたいと思ひまして・・お願いいたします。

○健康福祉課長（糸川成人君） まず12節の接種予約と業務委託の281万9千円ということですけども、こちらの方につきましては、当初予算ですと546万6千円計上してありまして合計で828万5千円の予算となります。こちらにつきましては、集団接種にかかるコールセンターということで、3回線で実際通話ができるのが・・通話というか予約を受けるのは2回線で1回線・・残り1回線は「お待ちください」というアナウンスのということで3回線ございますけども、そちらの方の回線の利用率ということになります。今回見直しをしたのはですね、フリーダイヤルということですね電話掛ける方の料金かからないようにということでフリーダイヤルに見直しをさせていただいたということと、期間の方についても9月末・・すいません9月末じゃなくてですね、9月中旬までですね・・9月中旬までの期間ということで少し延長したということでその分の増額となります。

また、薬剤師の役割ということでございますけども、今回接種する薬品ファイザー社のワクチンにつきましては、希釈をしなければならない・・薬の方を薄めなければならないということで、希釈に着きまして、薬剤師さんの方に役割を担っていただくということでございます。

○議長（渡辺文彦君） 小林君よろしいですか。

○1番（田中道源君） 先ほどの藤井議員の質問に関連させて質問させていただきと思います。先ほど、藤井議員から65歳以上の対象のこの補正予算なのかという質問に対して、そうではなくて、9月の末までのすべての補正だよということだったものですから、ちょっと聞きたいんですけども・・。65歳以上が優先的に最初にやるとしまして、その後のですね、64歳以下の疾患持ってる方がその中でも優先だという位置づけだったかなと思うんですが、その方々が、どのような進み方でですね優先して打ってけるよって

いう方法というんでしょうか、作戦と言いますか、こういう風なスケジュールでやろうとしてるよってのを教えていただけますでしょうか。

○健康福祉課長（糸川成人君） 今現在、田中議員のおっしゃるとおり65歳以上の方を対象にやっております。それから優先順位ということですね、基礎疾患を有する方また、高齢者施設の従事者の方、で、あとそれ以外の方ということでだんだん順位が・・・行く訳ですけども。基礎疾患を有する方というのはですね、町の方にも情報が中々無いところがございます。あくまでも個人の申告制ということになってしまいますけれども、どのように優先をするかという事でございますけれども、ワクチンの受付・・・接種日ですね例えば決めてですね、この日は基礎疾患のある方というような形でですね接種日を決めるであるとか、あとは予約の・・・予約の日程について、まずは基礎疾患の有する方の予約をしていただくとか、そういう予約をする日付をずらしてやっていくとかそういう方法を今検討しているところでございます。

○1番（田中道源君） それでは、その基礎疾患という人を持つての方ですね、町の方でなかなか把握しづらいとうことでありますけれども、実際にその・・・ま、私疾患じゃないだろうかと・・・持つてるんじゃないかなと不安に思ってる方が、どのように町の方ですね伝えたらいいのかっていうのは、すごく気になる所だと思います。まあ日を設けていただいて、それはありがたいなあと思いますけれどもね・・・そういう計画立っていたいてる事はありがたいと思うんですけども、私が基礎疾患だよっていうのをどのように伝えたらいいのか、そのやり方っていうのを今どのように考えているのか、教えていただけますでしょうか。

○健康福祉課長（糸川成人君） 具体的にまだちょっとはっきり決まっていない所もございますけれども、基本的には基礎疾患のある方ということで、病院に通院していたり入院をされていたりというような方が主になってくるかなあと思いますので、そうしたかかりつけ医のお医者さんの方にですね相談していただいて、ワクチン受けた方が良いでしょう、そういう形ですね・・・お医者さん・・・かかりつけ医の方で判断をしていただくような形になるのかなと思っております。

○1番（田中道源君） かかりつけ医のお医者さんに相談するっていうのはわかりました。これは一つの要望といいますかいろいろ検討されていることだと思いますけれども、そういったかかりつけ医のやり方・・・相談の仕方だったり、町の方にこういった形で申請し

てくださいよっていうようなのを何らかの形でですね告知していただけるとわかりやすいのかなあとと思います。実際私の所にもですね、相談来ましてどうしたらいいんだろうっていう相談来ますけども、今ちょっと今検討してるそうですからお待ちくださとっているところです。ですので、基礎疾患持ちの方であったり、私は対象になるんじゃないかなっていう人は、こういう形で相談してくださいとか、っていうような告知をしていただけるよう一つご検討よろしくお願い致します。以上です。

○議長（渡辺文彦君） 他に、質疑ございますか。

○6番（高柳孝博君） コールセンターの受付についてお聞きしたいと思います。あの最初受付した時に、電話がつながりにくいということがあって、かなりそれに対して不満を述べている方がいらっしゃいました。2回目あたりから放送等で・・・広報等で「受付が終了しました」とかいうのは出てきたんですけど、その後の受付の状況の時に、そういった問題が無かったのかどうか。それと、あるいはいろんな他の所では、SNS みたいな受付方法とかいろいろ考えてみたいなんですけど、その辺りの考え方はいかがでしょうか。

○健康福祉課長（糸川成人君） ほんとに今回の分については、かなり混乱を招いたと言うことですね大変申し訳なく思っているところでございますけれども、第1クールということですね、住民の方もこの回しかないというようなことをちょっと勘違いされている方なんかもいらっしゃったということも聞いておりますので、ご案内としましては、第2回目第3回ということで希望される方全員にワクチン接種ができるようにというようなご案内の方をさせていただいております。予約の方の受付の方法につきましてもですね、例えば先ほどの基礎疾患ではないですけども、高齢者・・・80歳以上の方をまず第1に、第2に70歳代の方、65歳から70歳の方ということで例えば年齢を区別して集中しないようにやるとか、また、もう1件 SNS ということでそちらの方もですね、他の市町でもやってるところがあつて、その SNS が9割方を占めて・・・予約の9割方を占めてしまったっていう事例なんかもあるものですから、例えば SNS の枠を設けて、ここは SNS の枠ですよというような枠を設けてやるとか、そういう方法も検討していきたいなということで考えています。

○6番（高柳孝博君） 2回目の接種ということもありますので、1回打たれた方は要領等ある程度わかっていると思いますけど、先ほど今おっしゃられたとおりに、年代別に分

けてやるとかしてもらいたかったなと意見もありました。その辺りもう少し見ながら、コールセンターがあんまり3回線目に流れるようではちょっとやはり不満になると思いますので、その辺りの捉え方・・・データが出てくると思います・・・どれくらい流れてくるっていうの・・・それに基づいていろいろ分けていただくとかなんかいろいろ考えていただけたらと思います。その辺りの考えいかがでしょうか。

○健康福祉課長（糸川成人君） 先ほどもいいましたけれども、やはりそういう・・・集中しないようにというような方法をですね検討していければなあということで思っております。

○議長（渡辺文彦君） 他に、質疑ございますか。

○2番（鈴木茂孝君） 今のお話で伺ってまして、予約は始まっているにもかかわらず、その・・・基礎疾患のある方ない方も一緒に予約をしてるっていう形なんでしょうか。それちょっと伺いたいですけれども。

○健康福祉課長（糸川成人君） 今始まっているのは65歳以上の方になります。65歳以上の方は基礎疾患があってもなくてもですね同時に受けるような形になります。65歳未満の方の中で基礎疾患のある方が優先されるというような形になります。

○2番（鈴木茂孝君） その辺を、ちょっとやっぱり集中しちゃってるって事もありますから、やはり基礎疾患のあると思われる方という形でやれば、もう少し整理できるかと思われるんですけれども・・・私の周りでもやはり、健康な方でも何十回も掛けてやっと予約取れたよという形で・・・でも基礎疾患ある方は何回掛けてもとれなかったりともありますので・・・その辺ちょっとお忙しいところではありますけれども、やはりどんどんどんどん棲み分けしてかないと、なかなかいっぺんにみなさんやりたいって事で一気に集中しちゃうって事もありますので、なかなかその辺ちょっと難しいと思いますけれども・・・そこをやってもらいたいなっていう風に思います。

それからあの・・・バスの借り上げのことで先ほどおっしゃったのが、落ち着いてから地区ごとにバスを出したいっていう話ですけども、その落ち着くっていうのはどういう段階になってから落ち着くっていうような考えでいますでしょうか。

○健康福祉課長（糸川成人君） 今現在の段階では、予約がコールセンターの方だけの予約になっているものですから、そこに電話が集中をしてしまうとそん中でちょっと地区割りというのがなかなかできない状況でございますので、その辺のコールセンターの方

の予約の数値といいますか・・・その辺を見ながら、集中の方がある程度落ち着いてくればですね、この日は例えば岩科地区とか、この日は中川地区とかってというような日にちで分けてやるとか・・・そういうのをどういう方法がいいのかっていうのをちょっとですね検討していければなあと思っております。

○議長（渡辺文彦君） お諮りします。時間が延長になってるんですけどこのまま、会議を続行したいと思いますけどよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声）

○議長（渡辺文彦君） それではこのまま会議を継続させていただきます。

○2番（鈴木茂孝君） やはり、どちらが先かということですけども何もないから集中しちゃうので、例えば今おっしゃられたみたいに、今度何月何日は岩科地区ですよ、何月何日はどこどこ地区を優先してやりますよって話を先にやれば、集中しちゃうって事もなくなるのかなと・・・、集中が終わってからこの地区やりますよって形よりも・・・どちらが先かっていうことですけども・・・私は、その地区を指定してあげれば、その地区の方達は安心して、そのコールセンターに連絡しなくても、いついつになったら受けられるんじゃないか無いかなんて思えば電話しなくなりますし、そうすると必然的にそのコールセンターの方も余裕ができてきて、希望通りに行くようになるんじゃないかと思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。

○健康福祉課長（糸川成人君） その辺に、いろんな方法があるかと思しますので、ちょっとあの・・・割と松崎町の方・・・予約の方が早かった・・・開始の方が早かったものですかから、また周りの市町の状況を見ながらですねいろんな方法を検討させていただければなあと思えます。

○議長（渡辺文彦君） 他に、質疑ございますか。

○7番（藤井 要君） 先ほどからですね、コールセンターの関係いろいろ出てますけれども、あの他の所ではですね・・・他の所っていか下田もそうですけど、南伊豆もそうなんですけどもアレですよ。コールセンターの受付をうちは今2人といいましたけれども、南伊豆は4人あったりとかいろいろ増やしてる場所もあるんですよ。こん次の第2クールになると若干減ってくることも予想される訳ですけども、現状では今増

やす予定はないということによろしいですかね、これは・・。そして、なんかインターネット上で申し込んだりするやつは5分間くらいで埋まっちゃったよと・・そしてそれを知らない人達が、一生懸命コールセンターに電話を掛けたと・・それも、あの・・ずっと1時間も2時間もやってたなんていう事例もありますので、もしそういうインターネット等でですねやるときには、ちゃんとした告知そしてそれで埋まったときには、速やかに連絡するという事も手じゃないかと思しますので、お願いしたいと思います。

じゃ最初の答えを・・答弁をお願いします。

○健康福祉課長（糸川成人君） コールセンターの人数を増やすかっていうことですがけれども、今のところまだちょっと状況を確認しているというような所で・・、他の市町の状況を確認しているというようなところでございます。確かに人数が増えればですね、かかりやすいかって言いますとやはり・・どこでも予約が集中していてですねかかりにくい状況はコールセンターの人数が増えてもですね変わらないと思います。ただその電話をかけてる時間がですね、例えば南伊豆町ですと2時間ですべて終わってしまったというような形で・・、予約が全部いっぱいになってしまったというような状況で、コールセンターの数を増やせば時間が短くなるというような形でですね、みなさんに何回も掛けさせる手間の時間が短くなるというような形になるのかなあとと思いますけれども、その点とまたあの・・SNS ということでですね、そういうものも活用したということで、そういうことも踏まえてですねまた、先ほども言いましたけれども周りの状況を確認しながらですね検討していければなあと思っております。

○議長（渡辺文彦君） 他に、質疑ございますか。

（発言する者なし）

○議長（渡辺文彦君） 質疑がないようでありますので、質疑を終結したいと思います、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（渡辺文彦君） 異議なしと認めます。

よって、質疑を終結いたします。

これより議案第28号 専決処分の承認を求めることについて（令和3年度松崎町一般会計補正予算（第1号））の件を挙手により採決いたします。

本案は、原案のとおり承認することに賛成の諸君の挙手を求めます。

(挙手全員)

○議長（渡辺文彦君） 挙手全員であります。

よって、本案は、原案のとおり承認することに決しました。

暫時休憩します。

---